

はながたみものがたり
「花筐物語」企画提案書

1. 栗田部の誕生

栗田部は、男大迹王潜龍の地として誕生し、照日の前との愛の物語、謡曲「花筐」の舞台として親しまれ発展して参りました。

この間、先人達は住民の幸せを願い、歴史、文化、伝統行事をしっかりと継承し、岡太神社を中心とするまちづくりに尽力されました。

かつて今立地区は味真野郷でした。

市町村合併の歴史の中で味真野地区、今立地区の様々な文化資源が共有され、東エリアの文化圏が一つになる、そういった時代に思いを馳せ、栗田部の発展を心から願うものです。

2. 花筐公園

①花筐公園の誕生

花筐公園は、弘化元年（1844年）に関甚兵衛さんが奈良吉野から40数本の桜を移植し「桜ヶ丘」として産声をあげました。これが花筐公園の発祥です。

②花筐公園の存在

県内の多くは、城址公園が多く、亀山公園、金ヶ崎公園、小浜城址公園、丸岡城公園があります。

足羽山公園は、明治期の公園で、西山公園は、間部藩の藩邸「嚮陽溪」として安政3年（1856年）に造成されています。

花筐公園は、古来からの歴史と文化を活かした風致公園で、かつ自然豊かな公園です。

③花筐公園の現状

この間、多くの町民の努力によって整備され、県天然記念物「薄墨桜」と共に継体天皇ゆかりの公園として『国登録文化財』の認定を受け、今日まで町民に誇りと癒しを与え、栗田部のまちづくりに大きく役立っております。

今や、住民が主催してきた春の桜まつり、秋のもみじまつりには、県内外より多くの観光客が訪れ、親しまれ、大きな成果を上げております。

先般、「薄墨桜」の大枝折損が発生し、また公園内の桜の老朽化が目立ち、計画的な整備が必要な状況になってまいりました。

そして、時代は多様な情報化社会に移行し、昔のような地域環境に戻すことは難しく、かつての地域や生活に結びついた「公園」もその様を変え、利用の仕方も変化しています。

④花筐公園の今後

これまでに多彩な文化を生み出してきたこの公園の特色を活かして、かつての賑わいを戻していかなければなりません。

そして、子どもたちにも愛され、誇りを持ってもらえるような新たな賑わいづくりをめざしていくことが必要です。

そこで、継体大王の業績を讃え、栗田部地区の伝統文化を大切にすることを、^{はながたみものがたり}「花筐物語」として後世に語り伝えていければ、と考えます。

今年平成25年は、花筐公園が造成されて170年の節目の年です。

これを機に、「花筐公園とこの地区のこれから」について、地区民と共に考える場として位置づけ、各種事業を企画展開して参ります。

3. ^{はながたみものがたり}花筐物語の背景

この物語は、この地域の人、自然、歴史、くらし、産業など、多彩な文化を元に住民参加によって創られる物語です。

この栗田部を囲む地域は、継体大王が残されたと伝わる和紙、鉄工芸、織工品、漆工芸などの産業の集積地で、栗田部はその中心商業地として栄えてきました。

継体大王を祀る神社も多く、岡太神社、日野神社、味真野神社、五皇神社などがあります。

また、継体大王に関する伝説も多く、謡曲「花筐」の照日の前、川上御前、倭媛、佐山媛など、多くの伝説に彩られ1,500年間もの間守り継がれている全国でも稀で貴重な文化の宝庫であります。

この多彩な文化の中から、周辺各地区の文化とも連携し、この花筐公園の魅力をあらためて見つめ直し発信するものです。

4. ^{はながたみものがたり}花筐物語が目指すもの

①当面の取り組み

この物語は、まず170年記念事業を成功させることから始まります。

そして、170年記念事業終了後は、桜、もみじ、植物などの保護育成と公園整備事業を重点に栗田部地区民だけでなく、県下広域から来られる方々の癒しの場、その器としての公園づくりを目指します。

②中長期的取り組み

継体天皇繋がりから味真野地区との連携を図り、観光名所の構築に向けて協議を深めていきます。

そして、世代や地域を超えた人と知の交流により、より確かな地域文化愛を育てます。



花筐公園の整備を推進し、栗田部地区への誘客増を図る

はながたみものがたり

5. 花 筐 物 語 の 主 な 事 業

物語のコンセプトは、花筐伝説にある「出逢い、再会、想う心」です。

人の関係性が希薄になりつつある現代の人々に「人を想う心の大切さ」をメッセージとして問いかけて参ります。

はながたみものがたり

花 筐 物 語 事 業

I 今後5年間継続して実施する事業

1. 桜、もみじの老樹・立ち枯れ樹の植え替え
2. 思い出桜の販売…公募者の協力のもとで新規に植樹し、後年度、観賞に来てもらえるような仕組みをつくる
3. カタクリ、日本タンポポなど、季節ごとの植物保護を計画的に実施する
4. 絵馬製作…伐採した桜樹で絵馬を製作し、神社境内で販売する
5. その他公園整備に関するもの

はながたみ

II 花 筐 を 題 材 に し た ワー キ ン グ を 通 し、地 域 を 越 え た 連 携 協 議 を 図 る

III 5年目（平成29年度）に、その後継続する事業を検討し、後年度に引き継ぐ

6. 170年記念事業

第1章 春（桜づくし）

①開花式式典

来賓祝辞

アトラクション 南越消防組合音楽隊など

その他 記念植樹、記念碑建立、絵馬製作など

②思い出桜

私の（私たちの）思い出を1本の桜に託す「思い出桜（縁結び桜）」植樹

③花筐桜名所めぐり

期間中の花筐桜観賞

④花筐桜茶屋

さくらスイーツはながたみコンテストなど

⑤花筐アート展

写真で見る栗田部の歴史展、さくら写真展

特別事業

- ・桜の木数えたい隊
地区内と公園の桜にロープをくくり、数を把握する
- ・まちなか美術館
前年度実施した絵画展の作品展示に桜の花を添えて各戸玄関等に飾る
- ・その他協働事業を計画する

第2章 夏（夏に咲く）

- ①NHKラジオ体操（市が主体）
会場案内運営計画など
終了後開催…消防ポンプデモンストレーション
- ②手形桜

第3章 秋（愁）

- ①花筐秋色ウオーク
スタンプラリー、もみじ観賞
- ②花筐秋の膳
ふるまいなべ
- ③花筐アート展
花筐絵画展（小中高校生）、もみじ写真展
- ④170年記念事業協賛 加藤登紀子コンサート（市が主催） ソフト面の応援など

特別事業

- ・もみじの木数えたい隊
地区内と公園のもみじにロープをくくり、数を把握する
- ・まちなか美術館
前年度実施した絵画展の作品にもみじの花を添えて各戸玄関等に飾る
- ・その他協働事業を計画する